

大阪民衆史研究会報

2025年2・3月号

第32巻第2号

(通巻353号)

発行 大阪民衆史研究会 (代表 林 耕二)

E-mail: osaka.minshushi@gmail.com

例会のお知らせ

◇4月例会

日時 4月20日(日) 13時半開場、14時開会

会場 大阪府教育会館 3F 蘭の間

報告 小原公輝(こはら よしてる)さん(河内いえまち再生会議理事長)

「重要文化財から学ぶ」

国交省の補助事業として、2010～2012年にかけて、全国の重要文化財の建物と、その工事中を調査してきました。私に関わった13物件の内5件についてです。私なりに感じたことや、当時の職人さんの技の多彩さ、思い、今では無くなってしまいそうな技(特に装工技術)を目にすることができ、感動の連続でした。

文化財は何故残さなければならないか？

◇5月例会

日時 5月17日(土) 見学会「百舌鳥古墳群を歩く」

集合 13時半 南海高野線 三国ヶ丘駅改札前 案内 平島将史さん

昨年巡検した古市古墳群と同時に2019年に世界遺産に指定された百舌鳥古墳群。

その中心である大山(大仙陵)古墳はギザのピラミッド・秦の始皇帝陵と並んで世界3大墳墓(面積・長さは世界最大)に数えられるが、その中に立ち入ることは禁じられ、かつその被葬者も宮内庁が治定する仁徳天皇ではないという見解が考古学的にはほぼ通説である。その古墳の巨大さを実際に足を運んで実感し、築造に当たった民衆の息吹に触れると共に、その周辺の古墳群を巡り、戦後古墳群の半分以上が破壊された経緯や、その動きに抗して古墳を守り抜いた市民の取り組みに学び、古代から近現代に至る権力者と民衆の相克、民衆の現実性を踏まえた動き等を看取する機会として、百舌鳥古墳群を巡検する。。

各例会 参加費 会員 400円 非会員 500円